

**社会資本整備審議会道路分科会 平成 27 年度第2回中国地方小委員会**  
**《議事要旨・議事録》**

1. 日 時

平成 27 年 6 月 30 日(火)14:00～16:00

2. 場 所

広島合同庁舎 2 号館

3. 出席者

<委員>

- |   |                    |                                  |
|---|--------------------|----------------------------------|
| ◎ | ふじわら あきまさ<br>藤原 章正 | 広島大学大学院 国際協力研究科 教授               |
|   | こいけ あつし<br>小池 淳司   | 神戸大学大学院 理工学研究科 教授                |
|   | すずき はるな<br>鈴木 春菜   | 山口大学大学院 理工学研究科 准教授               |
|   | ふくだ きょうこ<br>福田 京子  | 地域づくりネットワーク 代表                   |
|   | やまだ ともこ<br>山田 知子   | 比治山大学 現代文化学部<br>マスコミュニケーション学科 教授 |

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

山陰道(はわい～大栄東伯)

山陰道(木与付近)

山陰道(俵山～豊田)

5. 結論

山陰道(はわい～大栄東伯)の対応方針(案)『はわい～大栄東伯間全線に自動車専用道路を計画し、安全性、定時性の高い高速道路ネットワークを形成する』【案2】及びインターチェンジの配置案は妥当と判断する。

なお、今後の整備にあたっては、アンケート・ヒアリング結果で得られた情報を分析し丁寧に説明を行うこと。

山陰道(木与付近)及び(俵山～豊田)間について、地域の方が人口推計や交通の状況について、情報を取得できるように事務局で検討のうえ、第1回意見聴取を進めることを了承する。

## 6. 委員からの主な意見

### ○山陰道(はわい～大栄東伯)

- ・アンケートやヒアリングで得られた情報について、経済性優先や計画に否定的な意見も含め、地域や年齢などの属性を正確に分析し、事業の必要性を正しく伝える努力を今後行わなければならない。

他地区でのアンケート・ヒアリング結果と比較することも重要

- ・当区間は県内有数の農業地帯であり、農耕車の横断による事故も多く、安全性が確保されていない為、安全面からも長距離交通と地域内交通の分離は重要。

降雪、積雪時の救急搬送の面においても、代替性の確保が重要。

- ・今後、他地区でのアンケートでは分かりにくい表現を極力無くし、回答者により正しく情報が伝わるように工夫が必要。

### ○山陰道(木与付近、俵山～豊田)

- ・地域の現在の課題だけでなく、将来のことや隣接地域の状況、道路整備による産業の可能性などを踏まえた広い視野でアンケートに回答できるように、将来人口推移や交通の状況などをインターネットで情報提供すると良い。

QRコードを添付するなど工夫を行うと良い。

- ・俵山～豊田間については地域住民の課題を解決することに加え、下関市と長門市の交流がどの様になるかが重要であり、特にヒアリング実施時には丁寧に確認する必要がある。

以上